RACING PROGRAM

JRA



凱旋門賞
[G1]
QATAR PRIX DE L'ARC DE TRIOMPHE

フランス・パリロンシャン競馬場
日本時間10月1日(日)23時05分 発走予定

2023.10.1 中山競馬場・阪神競馬場　スプリンターズステークス[GⅠ]

凱旋門賞 G1

フランス パリロンシャン競馬場 芝2400㍍　3歳以上　牡・牝
発走予定時刻 日本時間10月1日（日）23時05分

凱旋門賞の基礎知識 ～歴史&コース紹介～

欧州を代表するビッグレース・凱旋門賞。
その歴史や舞台となるパリロンシャン競馬場について確認してみよう。

凱旋門賞とは?

凱旋門賞は1920年に創設されたフランスのG1競走。3歳馬と古馬が芝2400㍍で覇を競う定量戦として世界で初めて誕生した競走であり、本年で第102回を迎える。現在はヨーロッパにおける最高峰の競走として認知されており、芝2400㍍路線の欧州年度総決算として定着。ケンタッキーダービーや英ダービーと同じように競馬に携わるすべての者が憧れる夢のレースである。2008年以降はカタール競馬・馬術クラブがレースのスポンサーとなっており、総賞金額500万ユーロはヨーロッパの競走の中で群を抜いている。

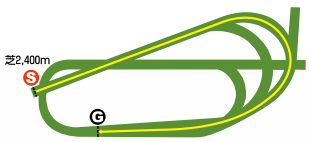
パリロンシャン競馬場とは?

舞台となるのはフランスの首都パリ西部のブローニュの森にあるパリロンシャン競馬場。国内最大の競馬場で、凱旋門賞を含めて、フランスで行われる平地G1・28競走のうち17競走が開催される。世界で最も美しい競馬場の一つとして知られており、競馬場の名称は従来ロンシャン競馬場だったが、2015年秋から2年半をかけて行われたスタンド改修工事後、花の都パリにあるイメージを鮮明に打ち出すため『パリロンシャン競馬場』に改められた。パドックや検量室を含む多くの施設が生まれ変わり、中でも黄金色の煌びやかなメインスタンドの誕生が、当時話題となった。

コースの特徴は?

凱旋門賞は外回りコースを使用して行われ、レースは右回りで争われる。コース形態はスタート直後の約400㍍は平坦で、その後向正面はゆったりした上り坂を約600㍍走る。3コーナーを過ぎてからは下り坂に転じ、前半1000㍍～1600㍍付近まで600㍍を進む間に10㍍を下がる設計。日本国内の競馬場では最も高低差がある中山競馬場でもその差は1周で5.3㍍であり、倍近いことを踏まえると、かなりのアップダウンと言える。コースの特徴として有名なのが実際の直線の前に走る約250㍍のフォルスストレートで、これを過ぎた後に最後の攻防が繰り広げられる実際の直線に入る。直線は起伏がなく平坦でその距離は東京競馬場とほぼ同じ533㍍だ。本競馬場で行われた凱旋門賞のレースレコードは2011年にドイツの女傑デインドリームが記録した2分24秒49。一方重馬場で行われた昨年の勝ち時計が2分35秒71と計時されたように道悪の場合は時計が掛かる傾向がある。昨年はG1・5連勝中だったイギリスの5歳牝馬アルピニスタがL.モリス騎手とのコンビで好位から抜け出して優勝。日本からの参戦馬はタイトルホルダーの11着が最高着順だった。





昨年は雨中の重馬場で行われた



海外競馬解説者・
合田直弘氏による

第102回凱旋門賞 レース展望

海外競馬解説者の合田直弘氏が今年の凱旋門賞を展望します。

エースインパクトをはじめとする層の厚い地元勢

地元フランスのファンが熱い期待を寄せるのが、3歳世代の代表格としての出走となるエースインパクト（牡3歳）だ。JC.ルジェ厩舎から今年1月にデビューすると、まずは南仏で条件戦を連勝。パリ地区初登場となったシャンティイのシュレンヌ賞（L）も制して臨んだ仏国版ダービーのジョッケクルブ賞（G1）も、後方一気の末脚を繰り出して制し、無敗のクラシック制覇を果たした。その後、8月15日にドーヴィルで行われたギヨームドルナノ賞（G2）も制し、無敗の連勝を5に伸ばしている。

「インパクト」を名乗るに相応しい鋭い切れ味が最大の武器で、仏ダービーではトラックレコードを樹立している。その一方で、デビュー2戦目に重馬場の条件戦を制しているが、一線級相手の道悪には、一抹の不安も残る。また、2400㍍の距離は未経験だ。

地元フランスの3歳世代には、凱旋門賞と同じ競馬場・同じ距離を舞台としたパリ大賞（G1）を快勝しているフィードザフレーム（牡3歳）という強豪もいる。エースインパクト同様、同馬もレース終盤に見せる加速力を武器としている。休み明けだった前哨戦のニエル賞（G2）は2着に敗れたが、一度使われた本番では、本来の切れ味を見せてくれるはずだ。

古馬の代表格となるのが、英国のランボーンを拠点とするO.バローズ調教師が管理するフクム（牡6歳）だ。2022年の欧州年度代表馬バーイードの1歳年上の全兄となる同馬。3歳時から重賞戦線で活躍していたものの、G1戦線で破竹の快進撃を見せていた弟に比べると「日陰の存在」に甘んじていた。だが、5歳6月にコロネーションC（G1）を制し、6度目の重賞制覇にして待望のG1初制覇を達成。今年7月には、近年最高の顔触れが揃ったと言われたキングジョージⅥ世＆クイーンエリザベスS（G1）を制し、欧州12ハロン路線の頂点に立った。ここまで、Soft（=重）、Good to Soft（=やや重）の馬場状態で5戦4勝の成績を挙げており、道悪巧者として知られている。

フランス調教馬ながら、ベルリン大賞（G1）、バーデン大賞（G1）と、いずれも直前にドイツのレースを勝っての参戦となるシムカミル（牡4歳）とザグレイ（牡4歳）。ともに道悪が巧いだけに、侮りがたい存在だ。

日本から参戦のスルーセブンシーズ（牝5歳）。イクイノックスのクビ差2着に入った宝塚記念（ＧⅠ）は、同馬が持つ高い能力を実証するものだった。欧州競馬への適性は高そうで、馬券圏内に入る可能性はおおいにあると見ている。

●主な出走予定馬

馬名	調教国	性齢	戦績	主な勝ち鞍
スルーセブンシーズ		牝5	12戦 4勝	23中山牝馬S（GⅢ）
エースインパクト		牡3	5戦 5勝	23仏ダービー（G1）
ザグレイ		牡4	14戦 5勝	23バーデン大賞（G1）
シムカミル		牡4	14戦 7勝	23ベルリン大賞（G1）
フィードザフレーム		牡3	5戦 3勝	23パリ大賞（G1）
フクム		牡6	17戦11勝	22コロネーションC、23キングジョージⅥ世&クイーンエリザベスS（以上、G1）


スルーセブンシーズ


エースインパクト 写真:REX/アフロ


フィードザフレーム 写真:REX/アフロ


フクム 写真:REX/アフロ



当コーナーの情報は9月20日時点のものです。出走回避・出走取消などによりレースに出走しない可能性がございます。
当コンテンツの内容においては、JRAが特定の馬の応援や推奨などを行うものではありません。

凱旋門賞
日本馬挑戦の蹄跡

年	馬名	性齢	騎手	調教師	着順	人気	優勝馬
2022年	タイトルホルダー	牡4	横山　和生	栗田　徹	11	1	アルピニスタ
	ステイフーリッシュ	牡7	C.ルメール	矢作　芳人	14	12	
	ディープボンド	牡5	川田　将雅	大久保龍志	18	10	
	ドウデュース	牡3	武　豊	友道　康夫	19	3	
2021年	クロノジェネシス	牝5	O.マーフィー	斉藤　崇史	7	3	トルカータータッソ
	ディープボンド	牡4	M.バルザローナ	大久保龍志	14	6	
2020年	ディアドラ	牝6	J.スペンサー	橋田　満	8	7	ソットサス
2019年	キセキ	牡5	C.スミヨン	角居　勝彦	7	6	ヴァルトガイスト
	ブラストワンピース	牡4	川田　将雅	大竹　正博	11	5	
	フィエールマン	牡4	C.ルメール	手塚　貴久	12	4	
2018年	クリンチャー	牡4	武　豊	宮本　博	17	4	エネイブル
2017年	サトノダイヤモンド	牡4	C.ルメール	池江　泰寿	15	2	エネイブル
	サトノノブレス	牡7	川田　将雅	池江　泰寿	16	11	
2016年	マカヒキ	牡3	C.ルメール	友道　康夫	14	1	ファウンド
2014年	ハープスター	牝3	川田　将雅	松田　博資	6		トレヴ
	ジャスタウェイ	牡5	福永　祐一	須貝　尚介	8		
	ゴールドシップ	牡5	横山　典弘	須貝　尚介	14		
2013年	オルフェーヴル	牡5	C.スミヨン	池江　泰寿	2		トレヴ
	キズナ	牡3	武　豊	佐々木晶三	4		
2012年	オルフェーヴル	牡4	C.スミヨン	池江　泰寿	2		ソレミア
	アヴェンティーノ	牡8	A.クラストゥス	池江　泰寿	17		
2011年	ヒルノダムール	牡4	藤田　伸二	昆　貢	10		デインドリーム
	ナカヤマフェスタ	牡5	蛯名　正義	二ノ宮敬宇	11		
2010年	ナカヤマフェスタ	牡4	蛯名　正義	二ノ宮敬宇	2		ワークフォース
	ヴィクトワールピサ	牡3	武　豊	角居　勝彦	7		
2008年	メイショウサムソン	牡5	武　豊	高橋　成忠	10		ザルカヴァ
2006年	ディープインパクト	牡4	武　豊	池江　泰郎	失格		レイルリンク
2004年	タップダンスシチー	牡7	佐藤　哲三	佐々木晶三	17		バゴ
2002年	マンハッタンカフェ	牡4	蛯名　正義	小島　太	13		マリエンバード
1999年	エルコンドルパサー	牡4	蛯名　正義	二ノ宮敬宇	2		モンジュー
1986年	シリウスシンボリ	牡4	M.フィリップロン	二本柳俊夫	14		ダンシングブレーヴ
1972年	メジロムサシ	牡5	野平　祐二	大久保末吉	18		サンサン
1969年	スピードシンボリ	牡6	野平　祐二	野平　省三	着外		レヴモス

※日本調教馬を対象とした。人気はJRAでの発売（2016年以降）のもの。優勝馬の前にある国旗は調教国



オルフェーヴル（写真左）：2012年　写真：ロイター/アフロ



ナカヤマフェスタ（写真右）：2010年　写真：ロイター/アフロ



エルコンドルパサー（写真右）：1999年　写真：AFP/アフロ

勝馬投票券の購入方法、レース視聴方法などは本誌モノクロページおよびJRAホームページにてご確認ください。
発走時刻などは変更となる場合があります。変更情報はJRAホームページでご確認ください。

